

いわみざわ



発行所 陸上自衛隊 隊地会
 〇 岩見沢市日の出台1-3
 印刷所 北海道立福祉村 村
 空知郡栗原町最上350
 電話 (0126) 45-2721

天塩渡河訓練

突撃渡河 “成功”

第十二施設群は六月十二日から十七日までの間、人員百四十九名、車両約五十両の規模で第一次群野営訓練を道北の天塩町で実施した。



本訓練は、群の渡河能力の向上を図るため天塩川の二カ所の訓練場で漕舟、漕渡、軽徒橋の架設、軽門橋の構築、運航、自走架柱橋と自走浮橋の接続の課目を基本訓練から協同訓練へと段階的に演練した。

今回は、第三三五施設中隊を基幹として、五月二十九日から渡河の基本訓練（水泳、漕舟、徒橋）を恵庭漕舟訓練場等で実施し、隊員の基礎動作の練度向上を図り群野営に臨んだ。

野営間のメインは、六月十四日から十五日にかけての総合訓練であった。十四日夕刻の普・施協同偵察に始まり、朝霧の立ちこめる午前二時、いよいよ突撃渡河開始。予定通りLDを発進し、普・施の綿密な連携により第一線目標奪取、引き続き軽（重）門橋の構築・運航、徒橋の構築、浮橋のための橋端部の構築を整齊と実施し、所定の時期までに完成し渡河支援の任務を完遂した。協同部隊として参加した第二十六普通科連隊の酒



井一尉以下二十五名も「渡河の一連の行動を亲身体験でき大変良かった」と感想を述べていた。

また、訓練間の十四日には天塩町の方々に対する訓練見学会を実施し、その中で自走浮橋及び渡河ボート等の乗船も体験した。訓練終了後は、町民を交えての野宴を実施し、町民との親睦をより一層深いものにした。

このような多大な成果を納め、渡河訓練を無事終了した。



七年度春季演習場整備

本年度始めて群が統一して行う野営（作業）として、春季演習場整備をリフレッシュ期間終了後の五月九日から十八日までの約十日間にわたり実施した。

（群土木幹部 溝江三尉）

群長以下総勢二百九十名の隊員が北海道大演習場・孫別演習場に展開・所命の任務を十分に達成し終了した。作業開始にあたり、群長は「本演習場整備は、群長が方面總監から命ぜられた最も重要な任務であり、各中隊は創意を凝らし本任務を達成せよ」との方針のもと、「基礎動作の確行、安全管理を要望事項として掲げ各中隊を律した。

今回、群に与えられた主要な任務は(一)装輪・装軌車道の維持・補修、(二)戦橋地域コルゲート側溝十八m修復、U字溝百m設置、法面改修、法面修復、法面への張り多作業、(三)境界新道、中央連絡道取り付け新道新設による伐採(千七



“終身保険の充実保障。”

- 〇三大疾病 (リビングニーズ)
- 〇余命6カ月生前死亡保険金支払
- 〇通院特約

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内線327)

安心とゆとりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 1500
 更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料還元制度をご利用下さい。
 定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

二人の時間を刻みたい



Iwamizawa
Heiankaku

Phone. 0126-23-4581 FreeDial. 0120-201143

隊友会岩見沢支部

◇平成七年度通常総会開催◇

平成七年度の総会を五月十一日午後三時からホテルサンブラザで開催し、五十名が参加して盛大に行われた。会議に先立ち支部長の挨拶



隊友会岩見沢支部総会

続いて平成七年度の事業及び収支予算並びに規約の一部改正について提案があり、案通り可決承認された。
今年は一任の役員改選の時期であり、三十二名のうち七名を改選することについて細川氏から役員改選の選考委員長としての経過報告がなされ、役員(案)の三十二名の氏名について提案された結果、案通り拍手をもって賛成可決し、旧役員七名を代表して前支部長岡田氏から挨拶があり、続いて新役員を代表して長崎氏から就任挨拶が行われ、円滑に総会が終了した。



岡田支部長最後の総会挨拶



永年勤続会員表彰

この後、来賓四名、現役員十八名も加わりスタジオで記念写真を撮影した。
十七時から懇親会となり、岩見沢市長代理の柿崎氏、岩見沢駐屯地司令、自衛隊協力会長の来賓挨拶が行われた後、津村業務隊長の乾杯の音



懇親会での乾杯

頭で懇親会となった。
岩見沢隊友会支部も年を数えるに付け総会参加者も増加し、また、会員数も百五十六名に達し大世帯へと変身して

平成七年度第一回役員会議開催

六月十七日十八時二十分から一回目の役員会議を開き、総会で決まっていた理事の中から支部長、副支部長三名、監事一名の互選が行われた。
支部長に長崎進氏、副支部長に細川金治氏、黒田悟氏、田代善信、監事に橋本了氏、松本忠雄氏が選ばれた後、支部長指名により事務局長に浅沼祐市氏、庶務理事に竹本重幸氏、会計理事に小山正司がそれぞれ指名され、全会一致で承認された。業務の組織については、今年度から庶務広報班、財務班、厚生班の三班とした。

庶務広報班長に細川副支部長、副班長竹本庶務理事、永理事、財務班長に田代副支部長、副班長小山会計理事、橋本監事、厚生班長に黒田副支部長、副班長、田中(久)理事をそれぞれ選出し承認された。なお、役員からの連絡網については、後ほど作成して

六月十七日十八時二十分から一回目の役員会議を開き、総会で決まっていた理事の中から支部長、副支部長三名、監事一名の互選が行われた。
支部長に長崎進氏、副支部長に細川金治氏、黒田悟氏、田代善信、監事に橋本了氏、松本忠雄氏が選ばれた後、支部長指名により事務局長に浅沼祐市氏、庶務理事に竹本重幸氏、会計理事に小山正司がそれぞれ指名され、全会一致で承認された。業務の組織については、今年度から庶務広報班、財務班、厚生班の三班とした。

いる。
盆を重ねることに歓談の声も大きくなり、一年に一回の顔もあることから懐かしくそれぞれ話は尽きないあり様であった。また、のど自慢のカラオケもそれぞれ披露され拍手を浴びて賑わった。
二時間の予定時間はあっという間に過ぎ去っていき、最後に恒例となっている北方面隊歌を広田顧問の音頭で全員起立して合唱となった。この歌だけは昔を偲ばせるなんとも言い難いみんなの心を一つにするものを感じさせた。
時間を惜しみながらの別れの言葉を名司会者の小山氏で締めくくりそれぞれ町中へと繰り出していった。
長崎記

オール電化マンション

レジェンド

(有) エイ

連絡先: 岩見沢市6条西7丁目

☎ 22-0087

総合商社

株式会社 君島商会

日本 社 岩見沢市南町8条2丁目 ☎022-4613
 〇志文支社 岩見沢市志文町2条3丁目 ☎ 22-5813
 〇栗沢支店 栗沢町本町 10 ☎ 45-2066
 〇石油部 岩見沢市南町9条2丁目 ☎ 22-4565
 〇自動車部 岩見沢市南町8条2丁目 ☎ 22-6434
 〇トキワ岩見沢 岩見沢市南町9条2丁目 ☎ 22-7861
 〇コバシ岩見沢 岩見沢市南町8条2丁目 ☎ 24-8390
 〇きんぎょ岩見沢 岩見沢市南町8条2丁目 ☎ 25-4840

ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号

はしもと商事株式会社

メンテナンスに関する事なら
お任せ下さい。

親切・丁寧・确实

TEL・FAX (0126) **22-5546**

岩見沢市駒園5丁目6

みんなの広場

◆阪神大震災災害派遣に参加して



第335施設中隊
2尉 田村 保明



本部管理中隊
2曹 亀本 哲吉



第312施設器材中隊
3曹 秋田 好胤

一月十七日早朝の二ニースで地震の発生を知った。出勤後、刻一刻と入ってくる速報の都度被害は大きくなる。この時点で私の頭には災害派遣が浮かんでいたが北海道からの派遣が決定されたのは一月三十一日の夜だった。

中隊長から副中隊長として出動せよとの命令を受領、直ちに準備のかけり二月五日に出発、六日大津に到着、七日に神戸に向かった。その途中テレビで見た光景が目に見え込んで来た。最初は物見遊山の気持でいたが、神戸に近づくと悲しい現実が目の当たりにして、「これは中途半端な気持ちでは派遣活動はできないぞ」という気持ちになり、身が引き締まる思いがした。

そして復興の第一歩は、今まで自衛隊不毛の地に地歩を築く第一歩でもあった。倒壊家屋の処理に当たり当初は被災者・行政共に賛否両論であったが、黙々と復興の任に当たる隊員の姿勢を見て徐々に打ち解けてきて、最終的には「自衛隊さんありがとう」とか「全部自衛隊さんのおかげだ」とかという声まで聞かれるようになった。今では震災後の復興に少しでも役立てた事を誇りに思うとともに、被災された方に心からお見舞い申し上げます。

CPのある六甲アイランドより市街地に出る機会が少なかったが、幾度か訪れた町並みは、震災時から一月が経過してはいたにもかかわらず、テレビで見た以上の迫力と悲慘さを感じさせた。

高架の高速道路は至る所で寸断。民家はベッチャンコに潰れ、家財道具が辺り一面に散乱したその脇に花が供えられている。頑丈そうに見えるいたビルまでが潰れていた。傾いていたり……。とにかく酷い状態であった。

そんな中で神戸の人達は力強く生活を続けていた。それはちやうど桜の季節であり、若い新芽が芽吹き、満開の花を咲かせる季節にも似たように、力強い生命力を奮散させているようであった。

今、神戸は新しい季節を迎え、第一歩を踏み出したばかりである。そんな神戸は私に「強く生きなあれん。そう教えてくれているような気がした。

神戸の人達の為に、わずかながらがあるが復興のお手伝いできたことに深く感謝するとともに、一日も早い完全復興を願わずにはいられない。そして、派遣に参加させてくれた中隊に対しても感謝したいと思う。

カンボディア、神戸……はいったいどこだろう。

地震・雷・火事・親父と昔からコワイものの代名詞のようには言われますが、改めてトッパに来るだけのことはあるなど感じさせてくれた阪神大震災、そこに私はダンブ車庫中隊の一員として派遣されました。そして神戸に入りまして、道路はひび割れあちこち盛り上がり、ビルは大半が崩れボロボロ。本造家屋はほとんど潰れ原型をとどめていません。それはテレビで見るとも生々しく大変驚き、同じ日本人のかと信じられない程でした。

そうした中で作業が始まり現地の状況にも慣れたころ、ある一般住宅の廃材処理をする事になりました。そこもめっちゃくちゃに潰れた家、作業前にじくじくした方に黙として作業を始めたのですが、廃材の中からいろいろなものが出てきます。その家の写真、子供のおもちゃ、家具、その中にどす黒く変色した血で染まった枕がありました。多分寝ている時に亡くなったのではないかと思えます。また、運良く生き残った家の方が作業をじつと見ているのですが、つらそうかわるいそうで大変複雑な思いをしました。

今回こうして災害派遣に参加している貴重な体験をしましたが、こういうつらい思い、また災害は二度と起きてほしくないと思いがこぼれま

駐屯地待望の新隊舎の建設が順調に進められています。この隊舎は、隊員の処遇改善と生活エリアと勤務エリアを分離するという施策により実施されるものです。

隊舎等の新設・改修進む

建物の総面積は五千六百十で、十八号隊舎側から新隊舎一階に、食堂からは道路の上を通過して新隊舎の二階に、それぞれ接続され各隊舎と食堂は、全て回廊で結ばれる多当地域ならではの特別な施設となります。

また、各階にシャワー室や調理室も設けられ、各室には電話も引き込まれ市内外通話も可能となり、ホテル並みの静かな居住隊舎になります。

二階にはWAC隊舎を組み込み、一階には医務室が併設され医療業務の向上が期待されます。

隊舎新設関連でボイラー室増設、木工、配管工場建て替えも平行して進めています。

一号隊舎は、坑道中隊を含

む群の全中隊の事務室、倉庫にするために改修工事を行っています。二階の半分と三階全部の内部改修と外壁全面を吹付けタイル仕上げをします。



人としての時代としてのモニュメントを大切に

株式会社 渡辺石材工業

■本店 〒068 岩見沢市8条東11丁目
TEL(0126)25-2545・FAX(0126)23-4567

H

株式会社 本堂建設工業

本社 〒058-21 TEL.010267-2-7300
三笠市岡山359番地1 FAX.010267-2-5658
札幌支店 〒003 TEL.011-861-1381
札幌市白石区本通り南1の8 FAX.011-865-5034
石狩支店 〒061-32 TEL.0133-73-3111
石狩市花川南1条1丁目 FAX.0133-73-0757

おしゃれの店

洋品の **マルカワ**

高橋 邦夫

岩見沢市3条東1丁目 ☎ 221224

千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉 嘉男

岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

近江建設株式会社

特定土木建築許可 一級建築士事務所

代表取締役会長 近江 章
代表取締役社長 近江 雅章

本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話 23-3026
FAX 25-6382
支店 札幌市中央区北1条西20丁目 電話 643-2569
FAX 643-2616
支店 三笠市街松町1丁目374 電話 2-3179

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン

富士火災

担当 松浦直樹
岩見沢支社 TEL.23-5142

昇任おめでとう

【第十二施設群】

- 二等陸尉へ
第三四二施設中隊 平田 昭浩
- 三等陸尉へ
第三陸尉 岸良 省三
- 群本部
准陸尉 岸良 省三
- 本部管理中隊
陸曹長 鶴田 宏道
- 本部管理中隊
陸曹長へ
陸曹 渡邊 衛
- 一等陸曹
第三四二施設中隊 吉田 良明
- 一等陸曹へ
本部管理中隊 小見 一仁
- 二等陸曹
第三二二施設器材中隊 荒井 朝成
- 二等陸曹
同 細谷 信明
- 同 今井 始
- 二等陸曹へ
本部管理中隊 村上 博之
- 第三三六施設中隊 葛西 伸
- 同 渡辺 伸二
- 第三四二施設中隊 松本 敏秀
- 三等陸曹 竹下 明宏
- 三等陸曹へ
本部管理中隊 岸本 久生
- 陸士長 日野 幸久
- 候補士 片山 修司
- 第三三七施設中隊 沼田 富士男
- 同 渡邊 敏
- 候補士 森 幸司
- 第三四二施設中隊 角田 文昭
- 陸士長 岩川 兼作

【業務隊】

- 二等陸尉へ 丸野 秋夫
- 三等陸尉 陸曹長へ 小笠原晶雄
- 一等陸曹
- 【会計隊】
- 三等陸曹へ 陸士長 平澤 秀一

【第十二施設群】

- 陸曹候補生指定
本部管理中隊 陸士長 正野 直人
- 第三三五施設中隊 陸士長 早坂 忍
- 第三三六施設中隊 陸士長 菅原 寿男
- 同 下川 和之
- 第三三七施設中隊 陸士長 三好 博之
- 曹候補士入校指定
本部管理中隊 候補士 家常 崇
- 第三三六施設中隊 候補士 桑原 準
- 第三四二施設中隊 候補士 中上 治
- ◎転入者 (4月分追加)
業務隊 行 (-X-) 高橋 廣満
- 行 (-X-) 城戸 和信
- ☆新規採用☆
行 (-X-) 後藤 裕子
- 行 佐藤 康弘



・業務隊
二曹 戸村 正行
4月22日 育美さん



・第三二二施設器材中隊
士長 小杉山哲也
4月15日 里奈さん



・第三三七施設中隊
曹長 田口 雅晴
5月28日 薫子さん



・第三二二施設器材中隊
三曹 飯野 和夫
4月26日 和枝さん



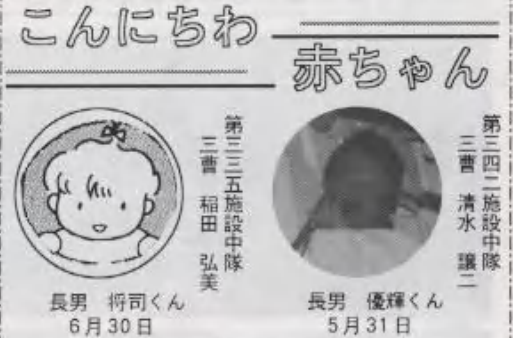
・業務隊
二曹 坂垣 洋一
6月1日 美恵子さん



永年の勤務
「苦勞様でした」
業務隊
二尉 葛西 正浩
就職先 大日フロード㈱
4月17日付



基地通信隊
技官 吉本 由佳
長女 早紀ちゃん
5月17日
第三四二施設中隊
二曹 米田 正信
長男 悠一くん
5月30日



赤ちゃん
第三四二施設中隊
三曹 清水 讓二
長男 優輝くん
5月31日
第三三五施設中隊
三曹 福田 弘美
長男 将司くん
6月30日

☆ ミニフォトニュース ☆

震災対処訓練 6/7



方面隊が実施した訓練で、札幌周辺で大震災が発生したという想定で一斉に行われ、駐屯地でも午前4時から準備訓練を行った。

第8回司令杯少年野球大会 6/3 ~6/18



各試合とも元気一杯のプレーが繰り広げられ、今年は若松町子供会が幌向南子供会の3連覇を阻止し初優勝した。

宝 石 創業87年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
(株)太田時計眼鏡店
岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126 3353 3354

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部
事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：勝 井 佑 輔
TEL：0126-22-3445

500人収容の大宴会場から中小宴会場
でお待ち申し上げております
ホテル ガンフラガ
岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788